

テイクアウトに活路を求める 飲食店を支援する移動販売車のレンタル

株式会社 中津レンタリース



軽自動車ベースにして独自のキャラクターも取り入れた外装のキッチンカー



わかりやすい説明を加えたチラシでアピール



機能的にレイアウトされた内部。エアコン装備なので快適に料理できる



クレープを販売中のキッチンカー



武内 啓太郎 代表取締役

1 profile 企業情報



会社名	株式会社 中津レンタリース
代表者	代表取締役 武内 啓太郎
所在地	〒871-0161 大分県中津市上池永1250-8(本社) TEL.0979-22-3464 FAX.0979-24-2032 URL https://nakatsu-renta.com/
事業内容	車両のレンタル及びリース
資本金	2,000万円
設立	1964年6月22日
社員数	13名

2 background 背景・経緯

コロナ禍により、「お店に行く」から「お店が来る」へ

新型コロナウイルスの感染拡大は、日本経済に深刻な影響を与えた。なかでも緊急事態宣言やまん延防止等重点措置に伴う外出自粛

要請、営業時間の短縮等は、飲食店に大きな打撃を与えた。これを受けて飲食業界ではデリバリーやネット通販ビジネスに重きを置きはじめ、なかには移動販売事業に進出する飲食店も現れた。

この動きに反応したのが、株式会社中津レンタリースである。県北エリアを中心に営業展開をしてきた同社は、新たな市場開拓を求めて2019年11月に「NSレンタカー」という店舗ブランドで県都・大分市に進出した。しかし、このタイミングで感染拡大が深刻化。移動自粛による一般乗用車の需要減少や、学校の部活動遠征や会社行事等で利用されていたマイクロバスの稼働激減に頭を悩ませていた。

そこで浮かんだアイデアが、キッチンカー（移動販売車）のレンタル事業だ。初めて移動販売事業に参入する場合、莫大な改造費用を投じた専用車両に仕上げなければならない。しかしレンタルを利用すれば初期投資額が不要であり、まずはテストマーケティングとして試験的にチャレンジしてみたいというユーザーにも対応できる。既に都市部では人気を高めていたビジネスモデルであり、同社では新規導入する2台の車両改造費用にものづくり補助金を活用して、大分県初のキッチンカーレンタル事業に取り組んだ。

3 details 事業内容

ユーザー目線を重視したキッチンカーの誕生

キッチンカーの製作は、保健所の基準をクリアするノウハウを有している専門の製造業者に依頼した。同社の場合、既存の軽自動車

がベース車両となっており、堅牢な骨組みの外装と床を組み上げ、電気設備や作業用テーブルなどのレイアウトを考慮したうえで内装を作り込んでいったものである。

完成サイズは、全長3,570mm、全幅1,650mm、全高2,670mm。給排水のシンクを2ヶ所設置し、食品保存用の冷凍庫、冷蔵庫と換気扇を装備し、キッチンカーでは珍しいエアコンもユーザーのニーズを考慮して装備した。さらにオリジナリティを打ち出すため外観に独自のキャラクターを使った装飾も施した。ちなみにキッチンカーの場合、「料理の工程毎に積載タンクに40リットルの水が必要」という規定があるが、事前に下準備を済ませていれば、麺類でなければ、ある程度の範囲はカバーできるため、今回の車両は1工程の料理が可能な40リットルの仕様を採用した。

4 achievement 成果

様々なニーズに応じた利用を提案

中津レンタリースでは、キッチンカーの需要が見込める大分市のNSレンタカーを窓口にしてスタートした。レンタル料は1日につき

平日 20,000円、土日祝日 30,000円（いずれも税別）で免責補償料も含まれる。保健所への届出は食品衛生の責任を有するユーザーが行うが、通常のレンタカーと同じ手続きで利用でき、1週間や1ヶ月の長期プランも設定した。

受付開始とともに順次申し込みが舞い込んだ。提供品目はステーキ弁当、オムライス等の料理メニューから、クレープ、チーズケーキ、和菓子、フルーツ飴等のデザートや菓子類から雑貨類まで種々雑多。利用期間は、週末開催のイベントに出店する場合は前日から準備のため2日間の利用客が多い。

提供品目によって1日あたりの所要経費は高くなるが、必要な時に必要な分だけ使えるのがレンタカーの強みであり、イベントの度に利用する固定客も増えている。当初想定していたテストマーケティングとしての利用者へは長期プランを勧め、出店場所や出店曜日や季節の絞り込みに活用するよう提案している。

5 future 展望

レンタカー会社が取り組みできる地域貢献策を再確認

中津レンタリースでは一般車、トラック等の貨物車、バス、バイクも含めて約270台の車両を揃えている。これにキッチンカーが加

わったことで、コロナ禍で打撃を受けた飲食業界に貢献すると同時に、“様々なニーズに対応できるレンタカー会社”としてのイメージアップにも繋がったことに、大きな手応えを感じている。

これまで法人ユーザーが中心だった同社だが、個人ユーザーを対象に、たとえばオープンカーを利用したドライブ等で“非日常の大分県観光体験”ができる提案も行っていきたいとの意向だ。



Point

コロナ禍に悩む飲食店に
キッチンカーのレンタルによる事業展開を提案。
新たなユーザーの開拓に手応え。